

## 8.20 広島八木災害報告（第 170 報）

2020.7.2

本日は、梅雨の谷間の快晴の日です。爽やかな風が、医院の庭のこの葉を揺らしています。

小学校や中学校が再開されて正常な授業に入ろうとしています。医院の前の梅林小学校の運動場には、休憩時間に子どもたちの賑やかな声が聞こえてきます。昨日の報道で、広島市内で、新型コロナの患者さんが出たということで、少し桑原医院も緊張して診療をしています。

6月15日から可部の私立高校の健康診断を始めました。副院長にも手伝ってもらって、午後から2時間で1学年を済ませます。コロナのこともあるので、体育館を使って、3蜜にならないように配慮してやるのですが、3学年全員を、3日間で済ませるのはかなり大変な仕事です。

丸山ワクチンの作用機序に関する研究を、岡田浩佑広大名誉教授のご指導で、研究計画を作成し、広島県医師会の研究倫理審査委員会の審査を受けています。昨日2回目の修正文を提出しました。

6月20日、安佐医師会の令和2年度の総会を行い、会長が辻先生に交代しました。私は顧問のままです。今後2、3年安佐市民病院の移転問題が当医師会の重要課題です。

6月25日、コロナ騒動で3か月中止していた“富士川游頭彰輪読会”を再開しました。久しぶりでしたので、一同かなり熱っぽい議論をしました。

6月26日、広島市立八木幼稚園の40年続いている“すくすくクラブ”という保護者会があり、“園児たちの新型コロナ対策”の話をしてきました。

6月30日、相田の馬場眼科へ定期受診をしました。多少視力が落ちていて、網膜にごみがたまっているそうです。老化現象でしょうか。もう少し頑張ってみたいと思います。

2020.7.2.11 時

桑原医院 桑原正彦